

研究計画書

ゼミ名	森ゼミ II	チーム名	森ゼミ I 班
タイトル	どうすれば日本の出生率の低下を抑えることができるのか？		
テーマ群	g) その他		
メンバー			
研究計画内容	<p>世界では人口増加が進行しており、2019 年の地球の人口は約 77 億人、そして 2050 年にはほぼ 100 億人に達する見込みである。しかし、その人口増加はごく少数の国のみで生じており、一方で人口が減少に転じている国もある。人口が増え続けているのは子どもが多く生まれていることが原因ではなく、医療技術の進展による平均寿命の地球規模での伸びていることが原因であり、世界的に高齢化が進行しており、その裏で出生率は低下の一途をたどっている。日本のその例外ではなく、2017 年の日本の総人口のうち 27.7%が 65 歳以上であり、約 2.6 人に 1 人が 65 歳以上の超高齢化社会でありながら、出生数は年々低下している。そこで「日本の出生率の低下に歯止めをかけるにはどのような政策をするのが最適か」をテーマに人々がどのような政策が少子化対策に有効と考えているのか研究を行うことにした。</p> <p>人口減少や少子化が進行している日本だが、少子化に対し、何も政策を行っていないわけではなかった。ではなぜ日本の少子化対策は成功しなかったのか、その原因を調べるとともに海外の少子化対策の成功している国ではどのような政策が行われ、日本で実施するならばどのような政策が良いのかをマーケティングの分野で用いられる「ベスト・ワースト・スケールリング」を用いて調査を行う。</p> <p>私たちの研究を行うことで、少子化が進行している日本でどのような政策をとることで少子化に歯止めをかけ、海外の成功している国のように出生率を引き上げられるのかが明らかにされる。</p>		